

令和 5 年 7 月 18 日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田 富士男

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和 5 年 7 月 10 日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第 7 条第 2 項に基づき、本審議会の意見として提出します。

記

1. 採択団体（5 団体）

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇ジュニア陸上クラブ	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業	417,100円 (300,000円)	300,000円 (369,600円)	71.9
西脇市美術協会	アートフェスティバルにしわき '23 事業	550,000円 (300,000円)	300,000円 (550,000円)	54.5
ママのおへソスкуль	ママのための頑張らない学校事業	345,000円 (262,000円)	262,000円 (345,000円)	75.9
Hot Spot 実行委員	Hot Spot 事業	345,000円 (300,000円)	300,000円 (300,000円)	87.0
よつばのクローバー	みんなあつまれにこにこコンサート事業	424,343円 (300,000円)	300,000円 (390,876円)	70.7
合 計		2,081,443円 (1,462,000円)	1,462,000円 (1,955,476円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

令和 5 年 8 月 3 日

西脇市長 片山 象三 様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田 富士男

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について

令和 5 年 7 月 24 日に開催した当審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程第 7 条第 2 項に基づき、本審議会の意見として提出します。

記

1. 採択団体（2 団体）

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助決定額 (補助対象額)	補助率 (%)
自然探索グループ	稀少蝶の保護「蝶の庭」活動事業	180,000円 (173,000円)	150,000円 (150,000円)	83.3%
むすぶっく	人と言葉とむすぶっく事業	320,000円 (300,000円)	240,000円 (300,000円)	75.0%
合 計		500,000円 (473,000円)	390,000円 (450,000円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

市民提案型まちづくり事業審査に係る意見（令和5年度申請）

団体名	意見
ママのおへソスクール	講座の参加者に偏った情報を与えないよう、広く情報収集を行い、講座内容や講師選定に留意すること。

西脇ジュニア陸上クラブ
代表 藤本 佳奈 (会員6名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	5.4.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 417,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 369,600
③	事業名	西脇ジュニア陸上クラブ活動事業					
④	事業目的	陸上競技の指導練習や記録会を通して子どもたちの自己実現につなげ、学校、学年、障害の有無などを越えた交流、仲間づくりを行うことで青少年の健全育成につなげる。また、子どもたちが陸上競技に触れるきっかけを作り、未来の活躍に向けて人材育成を行うとともに、地域のスポーツ文化を活性化し、スポーツによるまちづくりの一つとして「ジュニア陸上クラブ」を定着させ、ひいては地域の活性化につなげる。					
⑤	事業内容	月2回の土曜日の午前中に、都麻の郷交流グラウンドにおいて、陸上競技の指導者を招き、陸上競技の正しい知識、基本技術、スポーツのマナーなどを習得する。また、子どもたちが練習の成果を披露するとともに自分の記録更新に挑戦し、自己実現につなげる場とするため、保護者や地域の方などを招き、記録会や「山陽特殊製鋼陸上部による一日陸上教室」（地域とともに歩む兵庫の企業）を開催する。					
⑥	事業効果	スポーツは、青少年の心身両面の健全な発達に資すると言われていますが、SNSの普及や少子化などの影響もあり、現実として子どもの外遊びやスポーツ活動の時間が減少傾向にあると考えられます。そのため本事業を継続して実施することにより子どもたちがスポーツに触れる機会を増やし、将来にわたってスポーツを楽しみ、またその意義を感じ取ることを通じて心身の健全な成長につなげたいと考えています。また、子どもたちが学校や地域を超えて、仲間づくりや交流する中で、保護者を含めた新たな地域コミュニティが生まれることが期待できると考えています。					
⑦	事業の特色	本来の陸上クラブは専門性を高めるため、参加人数の制限や経験者が集まりやすい傾向がありますが、本クラブの目的である「陸上初心者を集めることで裾野を広げる」ことで、昨年は、市内6小学校、50名と幅広く子どもを集めることができ、学校を超えた友人関係が芽生えました。その結果、6年生では男女とも、こどもたちの希望によりリレーカーニバルなどの大会に出場することになり、学校混成でチーム編成を行い、本来の練習日以外にも練習を自ら希望するなど、上級生としての自立心が養われました。また、チームとして大会に参加することで、地域を超えた保護者間の交流がより深くなっていると感じています。					
⑧	今後の展開	本クラブの課題はコーチ陣と運営資金の継続性にあると考えます。コーチ陣については、保護者との交流が深まる中で、保護者の中から陸上経験者で、日々の運営の手助けをしてもらう人も出てきました。また、兵庫教育大学のボランティアステーションに「コーチ」を募ったところ「西脇工業高校、日本体育大学」で陸上競技を学ばれた大学院生の応募があるなど広がりが出てきました。また、財政面では、初期費用として陸上競技の用具が必要になりますが、現在では西脇市陸上競技協会の配慮により、安価で借りていますが、本まちづくり事業で少しでも補助を受けてスタートアップにつなげたいと考えています。一方で、会費も徐々に上げることで、安定的な運営資金を得ることも行っていきます。また、4年目からは現状のコーチ陣が指導者として、運営できるような指導体制を目指します。また、今回の企業との連携の中では、企業の社会貢献活動を今後の運営の対する支援のきっかけづくりとできればと考えています。					

西脇市美術協会

代表 藤原 廣幸 (会員63名)

①	事業種類	対象地域	市内全域	実施期間	5.5.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 550,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額 ¥ 550,000
③	事業名	アートフェスティバルにしわき '23				
④	事業目的	<p>昨年度に引き続き、現代社会における多様な課題に対応できる地域・人材を育成し、文化の香るまちづくりに寄与する目的をもって、アートフェスティバルを開催する。</p> <p>今年度は地域の文化や伝統と現代アートを融合させる意味で様々な団体や市民と交流し、楽しく新しい表現活動の場としたい。そのことにより若い世代にも文化を継承していきたい。</p>				
⑤	事業内容	<p>事業対象は、市内全域、芸術を愛好するすべての西脇市民とする。市内の小・中・高等学校及びこども園等にも、フェスティバル参加を呼び掛けたい。</p> <p>テーマは「楽しく・みんなで・市民とともに」とし「アートフェスティバルにしわき '23」を、2023/11/8~2023/11/12実施する。</p> <p>主たる会場は、西脇総合市民センターとし、日常と違う異空間に演出したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の作品展もテーマを持った作品展示の工夫や、制作過程や背景を紹介するトークイベントなどの開催 2. 地域で活躍する創作作家に賛助を呼び掛け作品の出品を依頼する。 3. 参加者や観客が作品に触れたり、参加したりできる作品を用意する。 4. 市内の高等学校に作品の展示及び、会場の演出などの協力を依頼する。 5. ワークショップを企画する。できるだけ多くの市民の参加を頂けるようSNSやチラシを効果的に使う。 6. フェスティバルに市民バンドや小・中学校オーケストラ・ブラスバンドに出演を依頼し、お祭り気分を盛り上げたい。 				
⑥	事業効果	<p>以上のような内容で構成されるアートフェスティバルは、地域の文化や伝統を表現するだけでなく、新しい形で表現された文化や芸術を若い世代に伝えることができます。</p> <p>地域の魅力を高め、交流人口を増やし、地域を活性化させることが期待できます。</p> <p>一方、アート活動における想像力を涵養することは、他者を理解し自分を表現する力を培うことにつながります。アートが社会課題にかかわるとは、個々人の想像力・表現力を涵養するところにあると考えます。</p>				
⑦	事業の特色	<p>美術鑑賞には、地域住民にとって多くの意義があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 展示会やイベントに参加することで、地域の文化や歴史を知ることができます。 2. 地元のアーティストが活躍する場を提供することで、地域の芸術文化を発展させることもできます。 3. 美術鑑賞は、人々の感性を刺激し、豊かな感性を育むことができます。 4. 美術鑑賞を通じて、地域住民同士が交流することもできます。 				
⑧	今後の展開	<p>昨年度の開催の反省をもとに、会員全体でアイデアを出しアートフェスティバル及び各種事業を継続します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アートフェスティバルを、会員・市民・近隣の作家など大勢が楽しく参加できるよう企画立案します。 2. ドウジウムでの各部門による「郷土作家ギャラリー展」も引き続き実施するとともに、各地区公民館等との連携を取り、巡回展も企画していきたいと考えます。 3. 西脇市及び文化連盟が主催する、「市展」及び「春のカルチャー市民作品展」等にも協力し、市民展を盛り上げていきます。 4. 西脇市美術協会として、SNSで事業の案内や個人作品の発表をしていくための組織を編成します。個展やクラブ展を通しての市民交流も継続します。 5. 新会員の掘り起こしをすすめ、後進の指導に当たります。 				

Hot Spot 代表 岡崎 敦 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内外全域		実施期間	5.7.1 ~ 5.12.1	
②	予算 / 要望額 / 補助 / 対象額	予算	¥ 345,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 300,000
③	事業名	Hot Spot事業					
④	事業目的	<p>西脇を広くアピールし、みんなで盛り上げ元気にする。特に若者が中心となるような文化を取り入れる。流行の飲食店やショップ、アーティストなどあらゆる角度から様々なものに触れて若者が楽しめるマルシェをつくり、参加者の交流と集客に繋げる。</p> <p>市内の飲食店、ショップ (coffee&bar POT/バーガークレイジー/串万/すぎや/四鶴/QYC/kukka/Love's gallery) 音楽 (シンガー/アコースティックライブ/DJ)・ダンス (ヒップホップ/ジャズ/キッズダンス)・アート (ライブペイント)・スケートボード (特設ミニランプ設置) など、市内外の出店者は約20店</p>					
⑤	事業内容	<p>〔対象〕 北播磨圏内の若者男女 (子供も含む。)</p> <p>〔いつ〕 令和5年10月1日 (日)</p> <p>〔どこで〕 北はりまエコミュージアム</p> <p>〔内容〕 同上 (事業目的に記載)</p>					
⑥	事業効果	<p>〔効果〕 参加者と出店者・演者様との繋がりをつくる事で事業以外で西脇市へ遊びに来てもらう機会が増える。</p> <p>子供達に将来の夢や希望を与える事が出来れば、西脇の発展に繋がる。</p> <p>事業を通して新たに地域の魅力を伝える。</p> <p>人と人との繋がりがポイント</p> <p>音楽、ファッション、ダンス、スケートボードに興味がある若者が増加している中、それを表現できるきっかけのイベントになればと思っている。</p>					
⑦	事業の特色	<p>食から音楽・アート・ダンス・スケートボードまで一堂に集まったイベントは市内では見かけない。</p> <p>特に若者が中心になる事によって、若いエネルギーと西脇の将来を担う土台作りをしていく。</p>					
⑧	今後の展開	<p>来年は事業最後の活動となります。</p> <p>同じく北はりまエコミュージアムにて開催予定</p> <p>事業拡大を目指し、再来年度はへそ公園でのイベント開催を目指す。</p>					

ママのおへソスクール
代表 宇仁菅 千佳 (会員5名)

①	事業種類	対象地域	市内全域	実施期間	5.4.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 345,000	要望額	¥ 262,000	補助対象額 ¥ 345,000
③	事業名	ママのための頑張らない学校事業				
④	事業目的	子育てママたちの居場所だけでなく、専門的な知識を持った先輩ママたちを中心として一緒に学ぶ機会をつくる。楽しく子育てできる環境づくりを構築する。				
⑤	事業内容	<p>対象：市内外全域の母子</p> <p>内容：</p> <p>①赤ちゃんの体づくり（寝返り、うつ伏せ、ハイハイなど）</p> <p>②産後ママのセルフトレーニング</p> <p>③子育てにかかるお金の話</p> <p>④離乳食の作り方 専門的な分野の学びと食育の場を提供することで子育てにかかる疑問を解決するとともに母子の居場所をつくる。</p> <p>母子のための学びのスクールを運営する。</p>				
⑥	事業効果	<p>コロナ禍で孤立したり、ネットだけで情報を収集するママの為に、リアルな声や学びの場を提供することで子育て環境を明るくする。</p> <p>ママ同士のつながりだけでなく、知識、経験（グルテンフリー加工品販売者）、資格（理学療養士、日本語教員、クリンネスト、整理収納アドバイザー）を保有した専門的な講師である先輩ママとの交流もできるので、孤立した子育てにならない。</p>				
⑦	事業の特色	<p>授業形式で、母子分離してママに授業を受講してもらうので、リフレッシュした時間になる。</p> <p>食育という観点から食材を選び、離乳食と親の食事の作り方講座も開催するので、児童館などの親子教室にはない交流の場が期待できる。</p> <p>食事内容は、グルテンフリー、米粉、発酵食品などを使用し安全安心な食育時間を提供する。</p>				
⑧	今後の展開	<p>毎回、授業内容を変えて、常に新しい学びの場と食育の時間を提供する。プレスクール及び、本講座受講の際に、参加者から参加費を徴収し、2024年以降は参加費だけで会が運営できるよう認知と講座内容を充実させる。</p>				

よつばのクローバー
代表 布垣 孝美 (会員14名)

①	事業種類	対象地域	市内、北播磨、丹波市全域	実施期間	5.4.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 424,343	要望額	¥ 300,000	補助対象額 ¥ 424,343
③	事業名	みんなあつまれにこにこコンサート事業（生まれてきてくれてありがとう）				
④	事業目的	普段コンサートなどに参加できない障がいのある方を中心に、生まれてきてくれてありがとうというメッセージをこめて共に楽しむことを目的とする。コンサート開催へのボランティアを募り、共に参加していただくことで、障がいへの理解と共生への第一歩となる。				
⑤	事業内容	ファミリーコンサート みんなあつまれにこにこコンサート （生まれてきてくれてありがとう） 令和5年5月3日（水・祝）14：00～15：30 出演 新井宗平さん、山本かずみさん				
⑥	事業効果	普段コンサートなどに参加できない障がいのある方、また車いすでのコンサート参加を可能にする。 またその保護者と一緒に楽しみ、生まれてきてくれてありがとうと最後に共に言い合えるコンサートを実施する。 コンサート開催へのボランティアを募り、共に参加していただくことで、障がいへの理解と共生への第一歩となる。				
⑦	事業の特色	年齢・障がいの有無にかかわらず、みんなで楽しめる心があったかくなるようなファミリーコンサートを実施する。障がいへの理解と共生への第一歩となると考えられる。				
⑧	今後の展開	今後も、年齢・障がいの有無にかかわらず、その人やその家族が自分らしく暮らせる地域社会作りと福祉の増進に寄与することを目的として活動を続けていく。				

自然探索グループ

代表 藤井 幹雄

(会員14名)

①	事業種類	対象地域	市内全域及び多可町	実施期間	5.4.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 180,000	要望額	¥ 173,000	補助対象額 ¥ 180,000
③	事業名	希少蝶の保護『蝶の庭』活動事業				
④	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・西脇・多可の豊かな自然（蝶・ニホンミツバチ）にふれてもらう ・市民に身近な蝶と触れ合ってもらい、生き物や自然に親しみ関心を寄せてもらう ・生物多様性を学び、希少蝶（ギフチョウ）が生息できる環境・保護を考えるきっかけとしてもらう 				
⑤	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆へそ公園地球科学館テラ・ドーム前に、花壇『蝶の庭』を造園 ・定期的に花壇整備（花苗の植え替え・灌水・草引き等） ・テラ・ドーム見学・学習をする子どもや、散策を楽しむ市民が蝶に親しめる花壇造り ・アサギマダラ飛来の環境整備（フジバカマ） ・ジャコウアゲハ生育環境整備（ウマノスズクサ） ・「蝶の庭」観察会 5/5（こどもの日） ◆学校支援ボランティア 小3理科「蝶の飼育」 要請に応じて出前授業 ◆蝶の観察写真展 10/9～22 於：Miraieギャラリー 地域に生息する蝶の講演会開催 ◆ギフチョウ（準絶滅危惧種）保護活動 食草地と卵調査 幼虫飼育・蛹の管理→放蝶 ◆ニホンミツバチの飼育・観察 				
⑥	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年秋、へそ公園テラ・ドーム前の空き地に『蝶の庭』造園作業を開始。継続した活動により、3年目に入った今年は、季節の草花がつつぎ花壇を彩り、テラ・ドームを訪れる人や公園を散策する方々に楽しまれている。 ・学校支援ボランティア 小3理科「蝶の飼育」出前授業。チョウとの触れ合い授業に子ども達の関心が高まる。 ・5/5（こどもの日）には、蝶の庭「観察会」を催し、親子で蝶の観察。ボランティアスタッフが蝶の説明。（午前中…約50名の参加） ・蝶の観察写真展 西脇・多可に生息する蝶。見学者は身近な蝶の名を知り、親しみや関心を寄せていただいた。 				
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・蝶が飛び交う『蝶の庭』整備 公園を訪れる人々が蝶に親しみ、憩い・やすらぎの場にする。 ・旅する蝶「アサギマダラ」が飛来する環境 ・岡の山に、準絶滅危惧種「ギフチョウ」を呼び戻す取り組み ・学校支援ボランティア ・蝶の観察写真展 				
⑧	今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「蝶の庭」整備 花壇づくりに際し、他所から大量に土を運び土壌整備に努めている。しかし、土が流れ草花の生育が不十分。 今後、土壌の改良を検討し、季節の花がしっかり生育する花壇づくりに努める。 ・蝶の生態・保護についての研修を深め、理解を広げる。 ◇市内の研究グループとの交流 ◇専門講師を招聘し、市民を対象とした講演会を行う。 				

むすぶっく

代表 大垣 和代 (会員10名)

①	事業種類	対象地域	市内全域		実施期間	5.6.1 ~ 6.3.31	
②	予算／要望額／補助対象額	予算	¥ 320,000	要望額	¥ 300,000	補助対象額	¥ 317,150
③	事業名	人と言葉と むすぶっく事業					
④	事業目的	黒田庄町は、図書館も本もあるのに、本と関わる場所として機能していない。西脇小学校の「ブックママ」の活動のように、人の居る図書室として、人々との交流ができる場とする人材の足掛かりをつくる。					
⑤	事業内容	「こどぼの種まき」の著者である村上信夫さんに講演をしていただき、コミュニケーションや言葉の大切さを学び、身近な所でも本とともにコミュニケーションをとる必要を感じてもらう。					
⑥	事業効果	現在、本とふれあう場に偏りがあります。ミライエから離れた地域でも本を借りたり返したり、日常的に人々が交流できる場と人を整え、西脇市のどこに住んでいても本に楽しめるまちをつくる。					
⑦	事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の大切さ ・コミュニケーションの必要性 ・本から得る語彙力 ・SNSでは育たない言葉と文章力 ・地域の活性化 					
⑧	今後の展開	市民全体に公平なサービスが行き届くよう、又、子ども・高齢者が安心して来れる憩いの場として、「歩いて行ける、人のいる小さな図書館」を各地域につくっていききたい。 まずは、黒田庄から始め、日野、比延…と広げていきたい。					